

# 防災だより

福井県立福井南特別支援学校

福井市南居町 82 (0776) 36-7631



第 8 号

平成 28 年 1 2 月 2 日

## 土砂災害に備えて、学校でも避難訓練…待機場所を確認しました。

本校は高等部棟南側の斜面が土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）になっています。そこで、土砂災害警戒情報などが出され、水害や土砂災害の危険が迫った場合には、南側斜面から離れた中央棟の2階に避難することになっています。

高等部は、調理室、音楽室、中学部3組の教室に入り、中学部3組は中学部1組に、その他の中学部はそのまま自分の教室に待機します。小学部はレインボールームに避難し待機します。今回の訓練でも、避難の放送を聞き、指定された場所に避難しました。



低学年は持ちグッツを持って避難

放送に耳を傾ける高学年。

交錯しないように避難



整然と待機する高等部。



自分の教室で落ち着いて待機



最後に避難のポイントを確認

## 話し合っておこう。お家での避難

「今までここは水害に遭ったことがないから大丈夫。」そんな判断が大きな落とし穴だったという話をよく聞きます。警戒警報や避難準備情報などが出していないか、自宅の周辺だけでなく、上流の地域では大雨になっていないかなども注意して早めの避難をしましょう。

避難場所の  
確認



早めに避難所に行こうね。でも、もしも夜だったら、無理に避難所まで行かないで、2階に上がって待機するよ。

# ★非常時のために 日頃からできること！

## 第3回 テーマ 「本人に寄り添う・・・交渉するときのコツ」

非常時にはいつもとは違うということがいろいろ起こります。今回は限られた環境の中でも、本人の気持ちに寄り添うためのコツを書きたいと思います。

暮らしの中で、本人からいろいろな要求があります。でもいつもそれをかなえてあげることができるとは限りません。答えたいけど答えられないとき、ただ「だめ」「無理」と言うだけではなく、まわりの状況を伝えながら、可能な範囲で交渉してみてください。なんとかかなえようとするその姿勢が本人の心の安定につながります。気持ちに寄り添うこと、ぜひ日頃からやってみてくださいね。

### 交渉するときの4つのコツ

- ①時間軸での交渉・・・例「今日は無理だけど、明日ならいいよ」など
- ②場所軸での交渉・・・例「ここでは無理だけど、お家ならいいよ」など
- ③人軸での交渉・・・例「お母さんは無理だけどお父さんなら大丈夫」など
- ④事柄軸での交渉・・・例「ゲームはだめだけど、絵本ならいいよ」など



ママとドライブ



ドライブ行きたいよね。  
でも、今日はお仕事もたまっているし、明日なら行けるよ。



## 冬用タイヤ交換はお早めに



12月に入り、いよいよ雪が心配な季節になりました。朝夕は凍ったり、積雪があつたりと気を張りますね。本校の建っている場所は他よりちょっと雪も多めのような気がします。お子様の送迎にも十分お気を付けてください。

雪には慣れてはいるはずの私たちですが、この雪国でもスリップ事故はよく起こります。事故は真冬より、降り始めの12月の方が多いそうです。時間帯は朝方と夕方。そして郊外の道で多くなっているそうです。

そういえば、12月の雪の降り始めに学校近くの広域農道でも田んぼの中に落ちている車をよく見ます。原因はというと、まだ冬用タイヤに替えていなかったというのが一番。そしてスピードの出し過ぎです。凍っているようには見えなくても実はうっすら凍っているブラックアイスバーンには特に注意です。

冬用タイヤも万全ではありませんから過信せず、スピードを控え、安全運転を心掛けましょう。

学校ホームページURLはこちら

[http://www.fukuiminami\\_sh.ed.jp/](http://www.fukuiminami_sh.ed.jp/)

学校HPの「危機管理」の中に「安心・安全な学校作り」のページがあります。この「防災だより」とともにぜひ御覧ください。